

# Cente Technical Information

発行番号	002-0014	Rev	第1版	発行日	2011/11/04
題名	サイズ0のファイルに対してfseekによりセクタサイズ以下のファイル拡張が出来ない不具合について				
情報分類	技術情報				
適用製品	・Cente Compact FileSystem Ver2.00				
影響API	fseek				
関連資料	なし				

## 【現象】

FS\_OVER\_SZ\_SEEKマクロに「1」または「2」を設定した環境下において、サイズ0のファイルに対してfseek()によりサイズの拡張を指定するとメディアのPartition Boot Sector(PBS)情報を壊してしまう場合があります。

## 【原因】

fseek()実行時に以下の条件を全て満たした場合に、FileSystem内部で管理しているセクタ番号を正しく取得できず、論理セクタ番号0に対してデータの書き込みを行なってしまいます。

### <条件>

- ・FS\_OVER\_SZ\_SEEKマクロに対して「1」または「2」を設定した環境下で運用した場合
- ・サイズ0のファイルに対してfseek()を実行した場合(fwriteより先にfseekを実行した場合)
- ・fseek()の引数「offset」に対して、セクタサイズ(通常512バイト)以下の値を指定した場合

FS\_OVER\_SZ\_SEEKマクロが「1」の場合は、fseek()を実行した時点で、FS\_OVER\_SZ\_SEEKマクロが「2」の場合は、fseek()後にfwrite()を実行すると、論理セクタ番号0に対してデータの書き込みを行なってしまいます。

## 【回避方法】

### ■運用での回避方法

以下の何れかの方法で運用により回避することが可能です。

- ・FS\_OVER\_SZ\_SEEKマクロに対して「0」を設定した環境下で運用する。  
(ファイルサイズの拡張を認めないモード)
- ・サイズ0のファイルに対してfseek()を実行しない。(fwrite後にfseekを実行する)
- ・サイズ0のファイルに対してfseek()を実行する場合は引数「offset」に対してセクタサイズ(通常512バイト)を超える値を指定する。

■プログラム修正による回避方法

fs\_ansi.cのfs\_fseek()に修正が必要です。

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上